

くたばれ ヒツポリュトス

原作:エウリビデス
上演台本・演出:田中孝弥
原作翻訳・補綴・ドラマツルク:丹下和彦

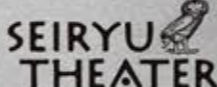
出演:
永津真奈(Acipe) 曾木亜古弥 木全晶子
趙清香 佐藤海斗 島田藍斗 小山栄華(アナタマの脱却者)
奇異保

音楽・ピアノ:仙波宏文 ヴァイオリン:谷川千尋

わたしのことは、わたしがきちんと始末をつけます。



2022年10月13日(木)~16日(日)
一心寺シアター倶楽



くたばれヒツポリュトス

原作:エウリビデス
上演台本・演出:田中孝弥
原作翻訳・補綴・ドラマツルク:丹下和彦

2022年10月13日(木)~16日(日)

13 14 15 16 ◆終演後、アフタートークがあります。出演者はwebで公表します。
木 金 土 日 ※各回、開演15分前から田中孝弥により「ピフォアトク」を行います。
14:00 ●●●●● ※荒天・自然災害が生じた場合、あるいはCOVID-19の広がりによっては、公演実施計画に変更が出る可能性があります。
19:00 ●●●●● 劇団ウェブサイトにて随時開催状況に関する情報をお知らせしますので、ご確認ください。

一心寺シアター倶楽

〒543-0062 大阪市天王寺区逢坂2-6-13 B1F tel.06-6774-4002 <http://isshinji.net/kura/index.html>
※各線「天王寺駅」、Osaka Metro谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」、堺筋線「恵美須町駅」より、徒歩約10分。
※お客様用駐車場はございません。お車でお越しの場合は近くのコインパーキングをご利用ください。

□オンライン配信『くたばれヒツポリュトス』

配信期間:2022年10月22日(土)~30日(日)
視聴料金:3,000円(公演パンフレット電子版付き)
※視聴チケットの入手方法等、詳細は劇団ウェブサイトをご覧ください。

□入場料金:日時指定・全席指定席※1

一般前売券4,500円 当日券4,800円※2
ペアチケット8,400円
U-22券2,500円(22歳以下の方を対象。当日受付にて、要証明書提示)
シニア券4,200円(65歳以上の方を対象。当日受付にて、要証明書提示)
※1座席指定番号は、予約・購入順となり、当日受付でのお知らせとなります。詳細については劇団ウェブサイトをご覧ください。
COVID-19感染状況によっては、最前列のお客様にフェイスガード着用をお願いする場合がございます。(フェイスガードはこちらからお貸しします)
※2 全売の際は、当日券の販売はありません。
○開演1時間前より受付開始、開場は開演の30分前です。
○小学生以下のお子様は入場できません。
○作品上演中の入場は制限させていただく場合がございます。
○会場内での喫煙・写真撮影は禁止です。
●当日券のお客様は、開演10分前からの入場となります。

□チケット取扱い

①クレジット決済/PayPayをご利用の場合:
PassMarket(<https://passmarket.yahoo.co.jp>)よりご購入ください。
(購入/申込完了)の自動返信メールをお送りします。
②銀行振込の場合:
劇団ウェブサイト内の「ご予約フォーム」より必要事項をお知らせください。
<振込先口座のご案内>をメールにてお送りしますので、手続きをお願いします。
着金確認後、<ご購入完了>のメールをお送りします。(振込期限は、10月7日(金)です)
★①②いずれの場合も、開演5分前にご来場されていない場合、座席指定は解除となります。
fax:06-6429-8387 (faxでのご予約も受け付けております。申し込み期限は、10月7日(金)です)



□スタッフ

舞台監督:大野亜希 舞台美術:内山勉 舞台美術アシスタント:新井真紀 照明:森和雄 照明オペ:木内ひとみ 音響:ふじわらゆうこ
衣裳:加藤沙知 小道具:濱口美也子 ヘアメイク:島田裕子 大道具:南アーツステイックポイント 振付:東出ますよ
写真:古部栄二(制作) ビデオ:岩本純一 宣伝動画:板倉善之 web・制作協力:飯村登史佳 宣伝美術:東学(一八八) 演出助手:K-Fluss
協力:株式会社コモーション、南ライターズ・カンパニー、アンサンブル・サビーナ、高口真吾、堀内立登、柏木貴久子、森池日佐子、島守辰明、宮本秀哲、
佐々木治己、川口典成
提携:一心寺シアター倶楽 制作:永朋 企画:一般社団法人清流劇場



清流劇場web:<https://seiryu-theater.jp>



安心してご観劇いただけますよう、感染症対策を行います。皆様のご理解とご協力をお願いします。
○会場内では、マスクの着用・咳エチケットにご協力ください。○会場入口にて、検温を実施します。37.5℃以上の方は入場をお断りします。(※その際は、チケットの払い戻しをさせていただきます)
○チケットご購入・ご予約時、皆様の連絡先登録をお願いします。万が一、COVID-19への感染が判明した場合、皆様へ確実に連絡が取れるようにするためです。ご登録いただいた個人情報には、必要に応じて保健所等へ提供する場合もあります。(この個人情報には感染予防対策にのみ使用し、保存期間終了後は速やかに廃棄します) ○会場内の各所に消毒液を設置しています。こまめな手洗いと手指消毒をお願いします。○ロビー等での社会的距離の確保にご協力ください。○会場内での会話は、できる限りお控えください。○面会・差入れはお控えください。
○終演後の退場は、混雑緩和のため、規制退場にご協力ください。○大阪コロナ追跡システムの利用にご協力ください。
清流劇場の取り組みについては、劇団ウェブサイトをご覧ください。

□お問い合わせ:清流劇場 ●e-mail:info@seiryu-theater.jp ●tel:080-2487-1347

【清流劇場は公演サポーター(個人様からの寄付)を募集しています。コースと特典リストは劇団ウェブサイトにて、ご案内しています。ご支援をよろしくお願いいたします。】
【清流劇場ウェブサイトでは、過去の作品のダイジェスト映像や舞台写真を公開しております。是非、ご覧ください。】

二つの手紙

恋心。ひとたび恋してしまうと、こればかりは、抑えようにも抑えきれぬものではありません。まさに神の仕業。いつの時代も同じです。

今回上演するギリシア劇『ヒッポリュトス』では、継母(バイドラ)が義理の息子(ヒッポリュトス)に恋してしまいます。そして、この恋の行方、失敗に終わります。

失恋の恥ずかしさ。こそばゆいようなあの感覚。しかし、バイドラはもつと恥ずかしかったかも知れません。何せ、彼女は王妃ですから。

この手の話は周りも面白おかしく騒ぎ立てましょう。何よりも『恥』を恐れるバイドラは、首を括って死んでしまいます。

その時、懐に残っていたのが一通の「手紙」。中には『ヒッポリュトスに無理やり犯されそうになった』と書かれてあります。事実とは逆です。

ですが当然、この手紙を読んだ夫(テセウス)は息子ヒッポリュトスへ怒りを爆発させます。

バイドラの恋心は一転、憎しみに変わったのか、はたまた、あの世で一緒にになりたいと思ったのか。いずれにせよ、ドロツとした恋愛ドラマです。

今回はこの作品に少しアレンジを加え、もう一通「手紙」を登場させます。

テセウスから友人に宛てた手紙です。実はこのテセウス、

以前から息子ヒッポリュトスのことが気に食わなかった。いつも清廉潔白で爽やかな若者。周囲からの人望も厚い。ふとした仕草やちょっとした言葉のやり取りが

年輩いたテセウスには癪に障るのです。テセウスは要するに『ひがみ屋さん』なのです。

そして、妻の死にちょうど良い機会を得たとばかりに、息子まで亡き者にしてしまおうと考えたわけです。テセウスは「手紙」の中で自身の心持を吐露します。

人には誰にだって、心に闇を抱える時がありますよね。だからこそ、人は複雑で面白いのだと思います。

田中孝弥

STORY

アテナイ王テセウスの後妻バイドラは、義理の息子ヒッポリュトス(テセウスと先妻の子)を一目見て恋に落ちる。

一方、ヒッポリュトスは度を越した潔癖さで女性も結婚も避けている青年であった。

バイドラは不倫の恋・絶望的な愛に悩み、次第に精神的に追い詰められていく。

ある時、バイドラの恋心は乳母に見破られる。乳母は橋渡し役を買って出るが、

バイドラの思いはヒッポリュトスに拒絶されてしまう。バイドラはその身を恥じ、

夫テセウス宛てに『書置き』を残して命を絶つ。この『書置き』は彼女の思いを冷たく拒否した

ヒッポリュトスへの報復だった。

バイドラは「ヒッポリュトスに無理やり犯されそうになった」と書き残していた。

自分の不名誉を挽回し、ヒッポリュトスにも不幸を味わわせるための捨て身の策略だった。

これを読んだテセウスは怒り狂い、ヒッポリュトスを追放処分とし、

呪い殺そうとする。



Tamotsu Kii



Aito Shimada



Kaito Sato



Akiko Kimata



Cho Chonghyung



Mana Nagatsu



Akoya Sogi



Eiga Koyama



Hirofumi Semba

たしかに誓うとは言うたよ、けど心は誓うてへん。